

とやの コミ協だより

第12号

2024. 1

鳥屋野小学校 増築校舎の建設がはじまる

鳥屋野校区コミュニティ協議会では、平成28年より鳥屋野小学校の児童増加に伴う対応について新潟市と協議を重ねてきました。平成29年度にグラウンド側に増築校舎を建設することが決まり、旧校舎解体(H29)、国の補助金申請(R4)などの手順を踏んで令和5年11月に増築工事が着工しました。



基礎工事が始まったグラウンド (2023年12月撮影)



建方工事の様子 (2024年1月撮影)

<増築棟工事スケジュール>

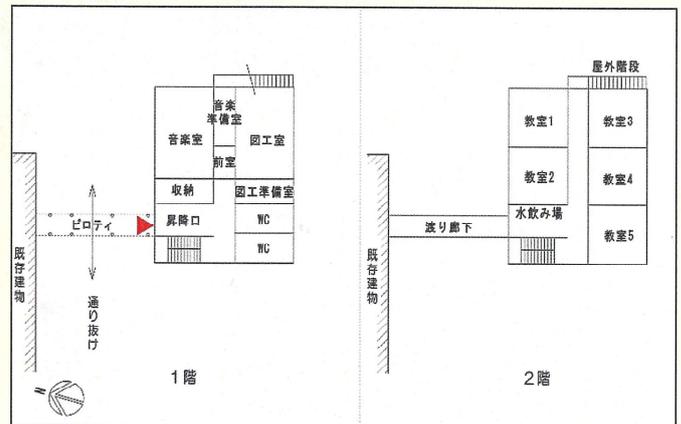
(新潟市提供)

- ・2023年11月初旬～12月下旬
杭工事・基礎工事
- ・12月下旬～1月中旬
建方工事
- ・2024年1月中旬～3月初旬
内装工事
- ・3月中旬
竣工
- ・4月～
供用開始



新しい校舎は、三条小須戸線に面した来客用駐車場脇のグラウンドに建設されます。現校舎とは2階の渡り廊下でつながり、1階には音楽室と図工室、2階には5つの教室が配置されます。令和6年3月に竣工し、令和6年4月には新校舎での学びの環境が整う予定です。

一方、旧鳥屋野小学校跡地では2023年9月から旧ひまわりクラブ第1・第2と旧小学校プールの解体工事が始まりました。解体作業と杭の撤去作業が進んでいますが、工事の具体的な内容、進捗は専用ホームページのブログから確認することができます。



増築棟 平面図 (新潟市提供)



かわいい看板が夜間ライトアップされています

旧小学校跡地の解体工事ホームページURL

<https://toyanohimawari-kai.wixsite.com/toyanokaitai>



QRコードから
アクセスしてね

工事業者：田中・大橋・カタプロ特定共同企業体
連絡窓口：(株)田中組 鷲尾 080(3193)4719

第9回とやのふれあい祭り～鳥屋野とともに！新たなきずな～（令和5年9月24日）

9月24日に第9回とやのふれあい祭りが開催され、およそ2,200人の地域の方々にご来場いただき大盛況でした。今回は5年ぶりに豚汁の振舞いと移動販売車による飲食提供が再開、美味しい匂いに誘われて長い行列ができました。



うまくスライム作れたかな??

小学生ボランティア大活躍!

久しぶりに復活したステージ発表「ふれあいライブ」では、小学生による樽太鼓やダンスパフォーマンス、バンド演奏に拍手と歌声で会場は大いに盛り上がり、中庭では上山中学校吹奏楽部による迫力ある演奏、上山 shine の躍動する総踊りに観客は魅了されました。



4年ぶりに復活した ステージ発表

上中吹奏楽部のみなさんのパフォーマンス



鳥屋野コミュニティ・スクールによる子育て世代の交流

ふれあい祭り名物豚汁だよ～



第9回となった「とやのふれあい祭」。至らない点が多々あったことと思いますが、皆様のおかげで無事、大盛況のうちに幕を閉じることができました。この場をお借りして感謝申し上げます。

今年、祭りを企画・運営する機会に恵まれ、たくさんのごことを学びました。なかでも印象的だったのは、他校のPTA会長から頂いた「鳥屋野は仕組みができていから強い」という言葉です。学校によってはPTAだけで開催するケースもあるというのです。

PTA・コミ協・おやじの会・スポ振・コミュニティスクールが一体となって開催している「とやのふれあい祭」。この形が当然のように感じていた私は、まだまだ先輩たちへの感謝が足りていなかったと痛感した次第です。

来年は記念すべき第10回の「とやのふれあい祭」。今年の経験と皆様から頂いた声をもとに、過去最高に子供たちの笑顔があふれる祭りとなるよう尽力する所存です。今後ともご支援のほどよろしくお願ひ申し上げます。

実行委員長 宮下 敏

鳥屋野校区自主防災訓練

(令和5年10月21日)

鳥屋野校区自主防災会による防災訓練を鳥屋野小学校で行いました。小学校6年生と参加希望の保護者、一般の地域住民あわせて430名ほどの参加がありました。4つの訓練（初期消火・応急手当・救出救護・津波避難）に加え、今回は中央区総務課安心安全グループ副主査 高橋様より避難所が設置された場合の生活の様子や役立つ知識を教えてくださいました。

訓練では、中央消防署県庁前出張所・新潟市消防団鳥屋野分団の皆さまが大変丁寧に指導くださり、参加者も質問をしながら熱心に実践していました。このような繰り返しの訓練が防災意識の向上につながり、有事の際に大きな味方になります。自助共助がうまく機能するよう、今後も地域みんなで防災力を高めていきましょう。



1/1(月)発生した能登半島地震で被災された皆さまに心よりお見舞いを申し上げます。同日、新潟市沿岸部地域に津波警報が発出され、鳥屋野地区は避難指示の対象となりました。鳥屋野小学校にも避難所が開設され、600名超の地域住民が避難しました。今般の避難所運営では至らなかった点もあり、自主防災会ではそれらの改善点を精査し、次回の防災訓練に活かしてまいります。

防火防犯講習会

(令和5年11月28日)

11月28日に防火防犯講習会を5年ぶりに開催しました。講習会は2部構成で行われ、前半は新潟市中央消防署県庁前出張所の風間様に防火に関する講習をしていただきました。今年の冬は家庭での火災が頻発しています。主な原因としては、鍋の空焚きや寝タバコの消し忘れなどの不注意、タコ足配線の過電流、ストーブ付近の洗濯物への燃え移りなどが多いようです。どれも対策をしっかりとすれば火事は防げます。いま一度各ご家庭の状況の再点検をお願いいたします。

後半は、新潟警察署生活安全課の藤田様より防犯講習をしていただき、新潟県の特殊詐欺の状況と被害に遭わないためのノウハウをレクチャーしていただきました。近年、特殊詐欺は巧妙化・多様化し、その被害額は減るばかりが増加傾向です。詐欺グループは弱みに付け込んだ状況を巧妙に作り出しお金をだまし取ろうと企てています。「自分は引っ掛からないから大丈夫」と過信せず、少しでも怪しいと感じたら身近な人に相談することを心掛けましょう。

冬季をむかえるにあたっての注意点（電気火災）



講習会資料より抜粋（中央消防署県庁前出張所提供）

特殊詐欺の最近の手法と注意ポイント

<p>オレオレ詐欺</p> <p>【狙われるターゲット】 お年寄りや高齢者、特に「おまかせ」や「お任せ」の言葉で誘われる傾向があります。</p> <p>【注意ポイント】 1. 知らない相手からの電話には、お金の話を聞かれないでください。 2. 知らない相手からの電話で、お金の話を聞かされたら、必ず家族や近しい人に相談してください。</p>	<p>架空請求詐欺</p> <p>【狙われるターゲット】 お年寄りや高齢者、特に「おまかせ」や「お任せ」の言葉で誘われる傾向があります。</p> <p>【注意ポイント】 1. 知らない相手からの電話で、お金の話を聞かされたら、必ず家族や近しい人に相談してください。 2. 知らない相手からの電話で、お金の話を聞かされたら、必ず家族や近しい人に相談してください。</p>
<p>融資保証金詐欺</p> <p>【狙われるターゲット】 お年寄りや高齢者、特に「おまかせ」や「お任せ」の言葉で誘われる傾向があります。</p> <p>【注意ポイント】 1. 知らない相手からの電話で、お金の話を聞かされたら、必ず家族や近しい人に相談してください。 2. 知らない相手からの電話で、お金の話を聞かされたら、必ず家族や近しい人に相談してください。</p>	<p>特殊詐欺防止チラシ</p> <p>「現金もキャッシュカードも渡さない」 （新潟県警察HPより）</p>

新潟県警察

防災研修 ～県内の地震・水害被災地を巡りました～

(令和5年9月29日)

新潟県内の過去に大きな地震や水害に見舞われた地域では、当時の被害状況や復興の様子などを次世代へ教訓として語り継ぎ、防災意識の向上を図るために防災学習施設が建設されています。この度、校区コミュニティ協議会初の試みとして、これらの施設を巡る研修会を実施しました。とても有意義な研修会になりました。

【小千谷震災ミュージアム(そなえ館)】

2004年(平成16年)10月23日新潟県中越地方を震度7の強い直下型地震が発生しました。発生時の様子を新体感型地震動シミュレーションMX4Dにより、動く椅子と立体映像で激しい揺れを体感してきました。こんな凄い設備があるとは知らず感じてきました。

【道の駅パティオ新潟刈谷田川防災公園】

2004年(平成16年)7月13日刈谷田川流域を襲った豪雨災害により甚大な被害が生じました。その当時の記憶を忘れることなく、防災意識を高めるための写真、パネルなどが展示されていました。

また、防災施設やキャンプ場を備えた公園、農産物直売施設などを見てきました。

【ミズベリング三条(三条市水防学習館)】

三条市は2004年(平成16年)7月13日と2011年(平成23年)7月29日の2度も豪雨災害に見舞われました。ここでは車が水没して車内に残された時にドアにかかる水圧を疑似体験したり、降雨再現装置で豪雨の怖さを体験する装置などを見てきました。

(報告・撮影: 鳥屋野校区コミュニティ協議会 事務局長)



クリスマスお楽しみ会♪

(令和5年12月16日)

コミュニティ協議会、社会福祉協議会、とやのふれあいスクールの協力のもと、今年も鳥屋野小学校を会場にクリスマスお楽しみ会が開催され、たくさんのご家族連れでにぎわいました。工作コーナーでは、真剣なまなざしで楽しそうにクリスマスオーナメントを作る子どもたちの姿が印象的でした。

体育館では、輪投げや紙飛行機とばし、風船運び、ミニボーリング、魚釣りなど、それぞれのコーナーで数字をゲットしてビンゴカードを埋めていくゲームに、子どもも大人も夢中になって遊んでいて、活気であふれていました。



イベントの企画、準備、運営を担ってくださったふれあいスクールの皆さま、民生児童委員の皆さま、そして地域のボランティアの皆さまのおかげで、今年最後のクリスマスイベントも大盛況でした。



編集
後記

2024年元日の地震では、鳥屋野小学校が避難所となりました。後日、自主防災会のメンバーが集まり、避難所となった教室やトイレの清掃を行い、元通りに戻す作業を行いました。ご協力いただいた地域の皆さま大変ありがとうございました。

発行者 阿部 洋一
編集委員 三浦智香江